

山武農業事務所

普及だより

山武農業事務所

山武の



山武農林業振興普及協議会

〒283-0006 東金市東新宿1-11

☎ 0475-54-0226 FAX 52-7914

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/>

稲作経営の安定を目指して

～山武地域の稲作経営を考える会 Part I～を開催～



平成27年度 山武地域の稲作経営を考える会 Part I

機構集積協力金の
支払いは単年度で
ですか？

中間管理事業の借
受希望面積が変
わったら手続きが
必要ですか？

飼料用米の搬入方
法・時期は？
稲こうじは問題に
なりますか？



飼料用米専用品種「夢あおば」「べこあおば」の
特性や生育状況について、ほ場視察

昨年、米価が下落し、稲作経営は厳しい状況を迎えています。今後、低コスト化、施策の活用により稲作経営の安定を図ることは喫緊の課題です。

そこで、山武農業事務所は、6月30日に「山武地域の稲作経営を考える会 Part I」を開催し、管内の大規模稲作経営者や関係機関など70名を超える参加者がありました。

情報提供では、J A全農ちば、(公社)千葉県園芸協会や農業事務所の担当から、国や県が推進する飼料用米の需要動向と人・農地プラン、農地中間管理事業などの情報提供を行いました。また、山武市で養豚業を営む法人関係者から、自社養豚で飼料用米を利用してゐる事例や今年の購入計画の紹介がありました。

その後、飼料用米専用品種の栽培ほ場の視察を行い、参加者からは専用品種の入手方法や種子の価格、収穫量などについて熱心な質問がありました。

山武農業事務所では、飼料用米を始めたとする28年度対策に向けて、年度内に山武地域の稲作経営を考える会 Part Iを計画しています。

畜産サイドからのイネ活用情報

飼料用米・イネWCS の利用状況と収穫適 期・給与について

山武管内における飼料用米向けイネの申請面積は約600ha（平成27年6月末時点）と前年度の約6倍に増え、またWCS向けイネの申請面積は約68haと増加しています。

◆管内の利用状況

飼料用米は、ほとんどは全農や民間飼料会社に集荷されていますが、一部は管内の採卵鶏と養豚で配合飼料の原料として使われています。イネWCSは、輸入粗飼料高騰等の影響を受けて今期は作付申請面積を上回る利用申込みがあり、申込みの半数以上は酪農家です。

◆イネWCS収穫適期
イネWCSは、給与する牛の種類に応じて収穫適期があります（図1）。泌乳

牛は消化管内の飼料通過速度が速いので10〜50%の粗は未消化のまま糞へ排せつされます。肥育牛はビタミンAの制御を行う場合、β-カロテンが低含量な黄熟期〜完熟期の収穫が適しています。

熟期 (出穂後日数)	適する 畜種
出穂期 (0日目)	泌乳牛 (酪農)
乳熟期 (10日目)	
糊熟期 (20日目)	肥育牛
黄熟期 (30日目)	
完熟期 (40日目)	

図1

◆給与について

給与開始時は、一度に切り替えず、徐々に給与量を増やし、家畜の反応を観察した上で飼育ステージにあつた飼料設計を行うことが必要です。

イネWCSの栽培及び給与方法については「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル 第6版（日本草地畜産種子協会）」がインターネットで閲覧できます。
<http://souchih.gr.jp/skill/pdf/>

農地の出し手を 募集中です！

規模を拡大したい担い手に貸し付ける農地を探しています。農業からのリタイアを考えている、相続した農地の管理に困っている、水田をやめて畑に専念したい等、貸したい農地がある方は、農地のある市町又は、公益社団法人千葉県園芸協会（農地中間管理機構（以下、機構））に御相談ください。

機構が農地の受け手を探します。賃料の徴収、支払い等の事務手続きは機構が行います。地域の農地の一定割合（二割以上）を、機構に貸す場合や個人が一定の要件を満たして農地を貸す場合、協力金の交付が受けられます。

また、規模拡大のために農地を借りた方も御相談ください。詳細は、千葉県園芸協会農地部（043-2223-3011）又は各市町農政関係課までお問い合わせください。

新たな 農業経営指標とは！ 「農業経営の改善・ 発展のための基本 ツール」

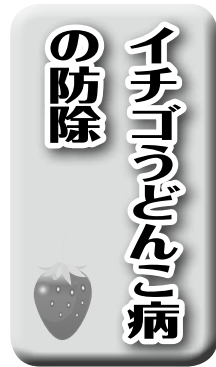
農業経営者の方々が、自らの経営状況を自己チェックし、経営改善を図るためにつくられたインターネット上のシステムです。特に認定農業者の方の経営チェックに活用できます。

経営内容を項目ごとに取組目標を確認し、基本データを入力することで数値の形で現況を客観的に把握できます。

指標で経営の評価が示されるので、経営発展の方向性や目標達成への道筋を明らかにすることができ、経年変化の把握や今後に向けたシミュレーションも可能です。

誰でもシステムを使えるので農林水産省のホームページから入り使ってみましょう。
↓「経営改善実践システム」で検索してください。

病虫害防除



昨年、イチゴにうどんこ病が多発し問題となりました。うどんこ病の発生程度は8～9月の温度条件と関連があり、低温・冷夏の年には発生が多くなります。気候によっては今年も多発する危険性があるため注意が必要です。

本圃での多発を防ぐには、育苗～定植期の薬剤防除が重要です。育苗期は株が過繁茂になり、薬剤がかかりにくい状況になります。定植前に葉かきをし、薬剤がかかりやすくなった状況で防除すると効果的です。定植作業中に発病株を見つけた場合、必ず薬剤散布を行ってから定植することが、その後の発生を防ぐポイントになります。

また、殺菌剤の選び方も重要です。殺菌剤は混合剤

が多く(表1)、同じ系統・成分の農薬を連続散布すると、うどんこ病に対する効果が低下してしまいます。同一系統の農薬の多用を控え、抵抗性のつかない気門封鎖剤なども利用して、効果的な薬剤散布を行い、うどんこ病の発生を抑えましょう。

表1 主な混合剤と連続散布を避ける農薬例

農薬名(混合剤)	混合されている薬剤	同系統で連続散布を避ける薬剤
シグナムWDG	カンタスドライフロアブル	アミスター20フロアブル ストロビーフロアブル アフェットフロアブル
オルパ顆粒水和剤	ファンタジスタ顆粒水和剤 フルピカフロアブル	アミスター20フロアブル ストロビーフロアブル
ファンベル顆粒水溶剤	ファンタジスタ顆粒水和剤 ベルコートフロアブル	アミスター20フロアブル ストロビーフロアブル
ダイマジン	ベルコートフロアブル	
ダイアメリットDF	ベルコートフロアブル ポリオキシシンAL乳剤	
ショウチノスケフロアブル	ガッテン乳剤 フルピカフロアブル	

注) 作用機構分類コード (FRAC) を元に作成

地域の動き



オリーブは観賞用の樹木として人気が高く、また、オイルの主成分オレイン酸の健康増進効果が注目され、需要が年々増加しています。国内の各地でも生産の取組みが始まっています。

東金市では、地域振興の一環としてオリーブの産地化を目指し、東金市植木組合の協力を得て試験栽培を開始しました。

山武地域では観賞用樹木として観葉植物・植木生産者がオリーブを生産していますが、果実生産のための技術については、経験年数が浅く、確立されていません。また、国内でのオリーブ栽培に関する知見は少なく、産地化を目指すにあたり、情報が少ない状態です。

そこで昨年度は、オリーブ栽培に関する情報を収集するとともに、東金市内に試験ほ場を設けて栽培特性を調査しました。その結果、植付けの条件として、かん水を十分にすること、強風の影響を受けない所への植付けや防風垣の設置、受粉の相性が良い品種を組み合わせる等が必要であることがわかりました。

また、今後果実が収穫に至った時のために、加工についても情報収集を行い、試作品にも取り組む予定です。



展示ほ (植え付け直後の様子)

担い手コーナー

農業経営体育成 セミナーが開講 しました

5月27日(水)、山武合同庁舎で平成27年度農業経営体育成セミナー開講式を行いました。新たに10名の参加者に加え、今年の農業経営体育成セミナーは36名でスタートしました。

開講式では、関係市町、JA及び指導農業士会・農業士協会山武支部の来賓の方々からセミナー生への暖かい激励メッセージをいただきました。開講式後、管内の先進農家経営視察研修として、横芝光町の施設トマト・メロンの経営と山武市のネギ栽培の経営を視察しました。

1年目の基本研修では種苗メーカー等の視察研修、2、3年目の専門、総合研修ではネギ、施設、ニンジンの作目別研修を実施しています。3月の閉講式まで、今後も様々な研修を実施していきます。



視察研修で先進農家のメロン圃場を見学



開講式の様子



指導農業士・農業士との交流会(太巻き寿司体験)



作目別研修でトマト栽培についての講義(6月)

千葉県立農業大学校 平成28年度 入学生の募集

千葉県立農業大学校は、農業を志す優れた担い手及び指導者の育成を目指し、入学生を募集します。

推薦入試

平成27年10月27日(火)

一般入試

A日程 平成28年1月7日(木)

B日程 平成28年2月26日(月)

詳しい受験資格等の情報は左記のホームページに掲載します。ご不明の点については電話で直接お問い合わせください。

申込・問い合わせ先

千葉県立農業大学校

電話 0475(52)5121

<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

noudai/